



2022年8月5日

各位

会社名 日本山村硝子株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 山村 幸治
(コード番号 5210 東証スタンダード市場)
問合せ先 経理部長 佐貫 正義
(TEL 06-4300-6000)

2023年3月期第2四半期連結累計期間および 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月16日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の第2四半期連結累計期間の業績予想および通期業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,000	400	△600	△1,100	△107.71
今回修正予想(B)	34,000	100	△1,300	△100	△9.79
増減額(B-A)	—	△300	△700	1,000	—
増減率(%)	—	△75.0	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期第2四半期)	30,943	1,152	△863	△1,319	△129.21

2. 2023年3月期通期連結業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	66,000	600	△1,300	△1,800	△176.25
今回修正予想(B)	66,000	△900	△3,100	△2,000	△195.84
増減額(B-A)	—	△1,500	△1,800	△200	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	64,291	444	△4,652	△9,651	△944.97

3. 修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主に国内のプラスチック容器関連事業においてナフサ価格の高騰で原料費が悪化することにより、営業利益は前回予想を下回る見込みです。経常利益については、上記に加え円安への為替変動に伴い海外関連会社における持分法による投資損失が増加

する見込みです。親会社株主に帰属する四半期純利益については、当社における繰延税金資産の追加計上によるものです。

通期連結業績予想につきましては、ガラスびん関連事業およびプラスチック容器関連事業において値上げ活動を継続するものの、ガラスびん関連事業においては天然ガスやソーダ灰、電力価格等の高騰による燃料費、原料費および動力費の悪化、プラスチック容器関連事業においてはナフサ価格や電力価格の高騰による原料費および動力費の悪化がそれぞれ続くことが見込まれるため、営業利益は前回予想を下回る見込みです。経常利益については、上記に加え円安への為替変動に伴い海外関連会社における持分法による投資損失が増加する見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益については、上期に追加計上した繰延税金資産があるものの前回予想を下回る見込みです。

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上